

CVS統計年間動向(2018年1月～12月)

*全店ベースの店舗売上高、来店客数、平均客単価に一部変更がございましたので修正しております。(赤字箇所)

本統計は JFA 正会員 8 社(2 月より 7 社)を対象としている。

* 店舗数:55,743 店舗(12 月末現在)

《売上高》

①全店ベース

年間売上高は 10 兆 9,646 億円(前年比 +2.6%)となり、前年比プラスで推移。

②既存店ベース

年間売上高は 9 兆 7,244 億円(前年比 +0.6%)となり、前年比プラスで推移。

《来店客数》

①全店ベース

9 月に前年割れとなったものの、年間では、前年比プラスで推移。年間来店客数は 174 億 2,665 万人(前年比 +1.2%)となった。

②既存店ベース

年間では、前年比マイナスで推移。年間来店客数は 157 億 673 万人(前年比 -1.3%)となった。

《客単価》

①全店ベース

年間平均客単価は 629.2 円(前年比 +1.4%)となった。

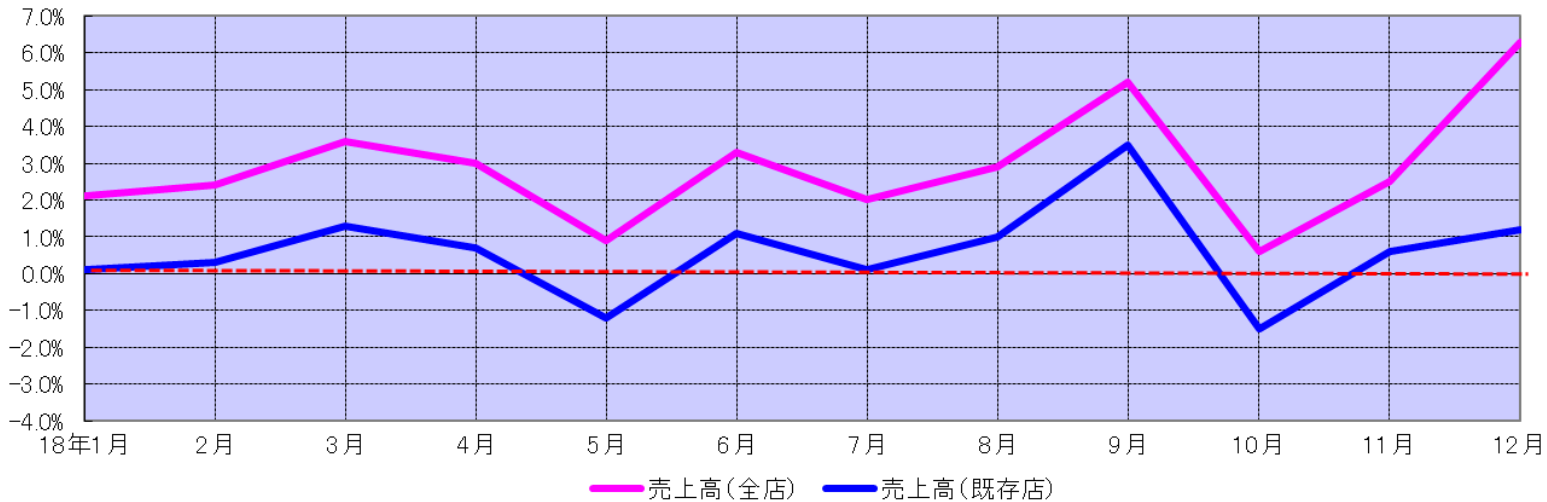
②既存店ベース

年間平均客単価は 619.1 円(前年比 +1.9%)となった。

2018 年は、店内調理品等のカウンター商材や惣菜、弁当、調理麺、調理パン、冷凍食品、サラダ・カット野菜等の中食、デザート等が好調に推移したことから、全店・既存店ともに売上高が増加した。背景には、ライフスタイルの多様化(少子高齢化の進行、単身世帯の増加、女性の就業率の上昇等)等による顧客の食の外部化のニーズ(個食、時短・簡便調理、健康志向、嗜好の多様化等)に応えた商品の品揃えを充実したこと等が考えられる。

一方で、他業態等との競争が激化したことに加え、5 月はゴールデンウィーク中の低温、7 月は西日本を中心とした豪雨等による天候不順、10 月はたばこ税増税の反動等から既存店売上高に影響を及ぼした。

売上高伸び率推移



客数&客単価伸び率推移

